

Doc No. L5-95JY104 R0

令和4年4月6日

原子力規制委員会 殿

東京都千代田区丸の内三丁目2番3号
三菱重工業株式会社
取締役社長 泉澤 清次

発電用原子炉施設に係る特定機器の設計の型式証明変更申請書（特定兼用キャスク）
本文及び添付書類の一部補正について

令和4年1月28日付け Doc No. L5-95JY103 R0をもって申請しました発電用原子炉施設に係る特定機器の設計の型式証明変更申請書（特定兼用キャスク）の本文及び添付書類を下記のとおり一部補正いたします。

記

発電用原子炉施設に係る特定機器の設計の型式証明変更申請書（特定兼用キャスク）の本文及び添付書類を別添1及び別添2のとおり補正する。

以上

本文の一部補正

本文を以下のとおり補正する。

頁	行	補 正 前	補 正 後
7	下 14～ 15	…蓋部が金属部へ衝突しない方法 で設置する設計とする。	…蓋部が金属部へ衝突しない方法 で <u>横置き</u> に設置する設計とする。
7	下 3～4	…地盤の十分な支持を想定して特 定兼用キャスクを基礎等に固定し、 かつ、その安全機能を損なわない、 基礎等に固定する方法で設置する 設計とする。	…地盤の十分な支持を想定して貯 <u>蔵架台等に固定された</u> 特定兼用キ ャスクを基礎等に固定し、かつ、そ の安全機能を損なわない、基礎等に 固定する方法で <u>たて置き</u> に設置す る設計とする。
8	上 2～3	…特定兼用キャスクの基礎等に固 定する支持部(下部トラニオン)は、 …	…特定兼用キャスクの <u>貯蔵架台等</u> に固定する支持部(下部トラニオ ン)は、…
9	上 8	…特定兼用キャスクを貯蔵架台に 固定し、…	…特定兼用キャスクを <u>貯蔵架台等</u> に固定し、…

添付書類の一部補正

添付書類を以下のとおり補正する。

頁	行	補 正 前	補 正 後
添付書類 目次	上 4	特定機器の安全設計に関する説明書	<u>変更後における</u> 特定機器の安全設計に関する説明書
添付書類 目次	上 6	特定機器を使用することにより発電用原子炉施設に及ぼす影響に関する説明書	<u>変更後における</u> 特定機器を使用することにより発電用原子炉施設に及ぼす影響に関する説明書
添付書類－ 資料名称		特定機器の安全設計に関する説明書	<u>変更後における</u> 特定機器の安全設計に関する説明書
添付書類－ 1-2	下 3～4	…特定兼用キャスクの貯蔵架台への固縛は、…	…特定兼用キャスクの貯蔵架台等への固縛は、…
添付書類－ 1-2	下 2	…特定兼用キャスクの貯蔵架台への固縛は、…	…特定兼用キャスクの貯蔵架台等への固縛は、…
添付書類－ 1-4	上 2～3	…特定兼用キャスクを貯蔵架台に固定し、…	…特定兼用キャスクを貯蔵架台等に固定し、…
添付書類－ 1-6	下 7～8	…蓋部が金属部へ衝突しない方法で設置する設計とする。	…蓋部が金属部へ衝突しない方法で <u>横置き</u> に設置する設計とする。
添付書類－ 1-7	上 4～5	…地盤の十分な支持を想定して特定兼用キャスクを基礎等に固定し、かつ、その安全機能を損なわない、基礎等に固定する方法で設置する設計とする。	…地盤の十分な支持を想定して <u>貯蔵架台等に固定された</u> 特定兼用キャスクを基礎等に固定し、かつ、その安全機能を損なわない、基礎等に固定する方法で <u>たて置き</u> に設置する設計とする。

頁	行	補正前	補正後
添付書類一 1-7	上 9～10	…特定兼用キャスクの基礎等に固定する支持部（下部トラニオン）は、…	…特定兼用キャスクの貯蔵架台等に固定する支持部（下部トラニオン）は、…
添付書類一 1-14	上 9～10	…蓋部が金属部へ衝突しない方法で設置する設計とする。	…蓋部が金属部へ衝突しない方法で <u>横置き</u> に設置する設計とする。
添付書類一 1-14	下 9～11	…地盤の十分な支持を想定して特定兼用キャスクを基礎等に固定し、かつ、その安全機能を損なわない、基礎等に固定する方法で設置する設計とする。	…地盤の十分な支持を想定して貯蔵架台等に <u>固定された</u> 特定兼用キャスクを基礎等に固定し、かつ、その安全機能を損なわない、基礎等に固定する方法で <u>たて置き</u> に設置する設計とする。
添付書類一 1-14	下 5～6	…特定兼用キャスクの基礎等に固定する支持部（下部トラニオン）は、…	…特定兼用キャスクの貯蔵架台等に固定する支持部（下部トラニオン）は、…
添付書類一 1-70		第 1-7 表 (1/2) 安全機能評価結果（蓋部が金属部へ衝突しない設置方法）	別紙 1 - 1 の記載に変更する。
添付書類二 資料名称		特定機器を使用することにより発電用原子炉施設に及ぼす影響に関する説明書	<u>変更後における</u> 特定機器を使用することにより発電用原子炉施設に及ぼす影響に関する説明書
添付書類二 2-2	下 2～3	…蓋部が金属部へ衝突しない方法で設置する設計とする。	…蓋部が金属部へ衝突しない方法で <u>横置き</u> に設置する設計とする。
添付書類二 2-3	上 9～10	…地盤の十分な支持を想定して特定兼用キャスクを基礎等に固定し、かつ、その安全機能を損なわ	…地盤の十分な支持を想定して貯蔵架台等に <u>固定された</u> 特定兼用キャスクを基礎等に固定し、かつ、

頁	行	補 正 前	補 正 後
添付書類二 2-3	下 10～11	<p>ない、基礎等に固定する方法で設置する設計とする。</p> <p>…特定兼用キャスクの基礎等に固定する支持部（下部トラニオン）は、…</p>	<p>その安全機能を損なわない、基礎等に固定する方法で<u>たて置き</u>に設置する設計とする。</p> <p>…特定兼用キャスクの貯蔵架台等に固定する支持部（下部トラニオン）は、…</p>

第 1-7 表 (1/2) 安全機能評価結果 (蓋部が金属部へ衝突しない設置方法)

項 目			評 価 結 果		設 計 基 準 値
			17×17 燃料 収納時	15×15 燃料 収納時	
臨 界 防 止	中 性 子 実 効 増 倍 率	乾 燥 状 態	0.39	0.38	0.95
		冠 水 状 態	0.92	0.92	
遮 蔽	表 面 最 大 線 量 当 量 率		1.14mSv/h	1.18mSv/h	2 mSv/h
	表 面 から 1 m 離 れ た 位 置 に お け る 最 大 線 量 当 量 率		87 μSv/h	84 μSv/h	100 μSv/h
除 熱	燃 料 被 覆 管 最 高 温 度 (注 1)		215℃	215℃	275℃ (1)
	特 定 兼 用 キ ャ ス ク 構 成 部 材 最 高 温 度 (注 1)	胴、外筒、蓋部	140℃	140℃	350℃ (2)
		中 性 子 遮 蔽 材 (レジン)	135℃	135℃	149℃ (3) (4)
		金 属 ガ ス ケ ッ ト	115℃	115℃	130℃ (5)
		バ ス ケ ッ ト	185℃	185℃	250℃ (注 2) (6)
閉 じ 込 め	金 属 ガ ス ケ ッ ト の 漏 え い 率		1.6×10^{-6} Pa·m ³ /s (注 3)	1.6×10^{-6} Pa·m ³ /s (注 3)	2.6×10^{-6} Pa·m ³ /s (注 3) (注 4)

(注 1) 貯蔵建屋内貯蔵時及び屋外貯蔵時の温度を包絡する温度である。

(注 2) 別添 1-1 参照。

(注 3) 一次蓋シール部及びカバープレートシール部のうち、安全側の評価結果となる一次蓋シール部の漏えい率である。

(注 4) 17×17 燃料収納時及び 15×15 燃料収納時ともに同値である。